



ご入園・ご進級、おめでとうございます。保護者の皆さんの中には、お子さんの初めての集団生活に戸惑いや不安を抱かれている方もいらっしゃると思います。岩根こども園は、地域の皆様にご信頼いただき、保護者の皆さんの就労支援、お子さんの健やかな成長を見守り、支えてきました。今後も運営方針、教育・保育目標をまもり、日々の保育実践に職員一同取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願いします。 理事長・園長 平野弘和

《岩根こども園運営方針並びに教育・保育方針》

1 運営方針

本園では「いっしょに子育てする」ことを提案しています。「いっしょに」とは、保護者と保育者にとどまらず、保護者同士も含めて考えています。そのために、「保育参加」を行って、こども園での子どもの生活ぶりや保育者の子どもの接し方など、保育参加を通して知っていただきたいと思っています。子育ての主体は保護者ですが、自分の子どもよその子ども「いっしょに子育てする」関係を大切にしたいと考えています。年1回保護者の皆さんの都合に合わせ、保育参加をしていただき感想を文集にして配布しています。年齢ごとの悩みや心配事を保育者と共有でき、解決するための方法を話し合える関係になりたいと思っています。

2 私たちが望む子ども像(教育・保育方針)

- ① 明るく 自分らしく行動できる子ども(乳児期)
- ② 正しく 自分らしく行動する中で、他者の気持ちに寄り添える子ども(2～5歳)
- ③ 遅しく 心も体も遅しく、何事にもあきらめずやり遂げる子ども(全年齢)

私たちが望む「子ども像」に近づけるために次のような保育を行っています。

乳児クラスの緩やかな担当制…0歳児～2歳児までのクラスでは、育児面(食事・排泄・睡眠)を担当制にしています。室内外の遊びの場面では、すべての保育者がクラス全体の子どもを保育します。全クラスとも、子どもの育ちの特徴に合わせて1日の流れ(日課)を定め、子どもが先の見通しを立て、主体的に行動できるように支えています。

主体的に育つ子ども…子どもたちは、日々同じことを繰り返すこと(日課)により先の見通しが持てるようになり、自分でしようとする意識が育ってきます。就学前教育の最も大切なことは、子ども自身の心情、意欲、態度を育むことです。3歳以上児は、異年齢でクラス編成し、子ども集団の中で自らの内面の育ちを支えられるように環境を整えています。年上の子が年下の子を気遣い、年下の子が年上の子の遊びや生活を学べるように配慮しています。

3 家庭的な環境

乳幼児が落ち着いた環境の中で過ごせるように、保育室など家庭的な環境づくりに努めています。季節の変化に気づかせるような装飾(伝統行事)、展示物に配慮しています。食器は陶磁器・竹箸を使い、家庭に近い環境を心がけています。離乳食、アレルギー対応食などにも配慮しています。3歳以上児は子ども自身が野菜の栽培、苗植え、収穫、調理など体験できることを積極的に取り入れています。給食の食材、実施献立の展示など食育にも配慮しています。

4 防災対策

毎月、火災・地震・津波・水害等に備え避難訓練を実施しています。